

## ④ 弘済院区域

### 概要

千里ニュータウン内の中国縦貫自動車道沿い(北側)にある南向き斜面に、高齢者福祉施設、病院、高齢者向け住宅などが並んでいます。リニューアルされて、新しい建物が増えました。広い範囲に草地や雑木林が残されていますが、建物敷地や竹林の拡大などによって、少し狭くなりました。すぐ東側に河川があり、区域の周囲には、野鳥ならちょっと飛ぶだけで行き来ができる程度の間隔で緑地帯や公園、万博記念公園などが分布しています。

### 哺乳類

アライグマとタヌキが、ほぼ同じ場所を利用して、どちらも家族群で暮らしています。

全2目4科4種(現地2目4科4種/文献なし)

アブラコウモリ、アライグマ、タヌキ、イタチ属の一種

### 鳥類

大きな水辺を含まないこともあって、カモ類が見られず、それ以外の留鳥が主です。万博記念公園西端にあるカラス類のねぐらに近いので、朝夕にはカラスがたくさん通過します。

全6目20科33種(現地6目20科33種/文献なし)

コサギ、キジバト、カワセミ、アオゲラ、アカゲラ、コゲラ、ヒヨドリ、ウグイス、コサメビタキ、カケスなど

### 両生類・爬虫類

乾燥したところが多いので、そうした環境を好む種類だけが生息しています。

全1目4科4種(現地1目4科4種/文献なし)

ニホンヤモリ、ニホントカゲ、ニホンカナヘビ、アオダイショウ

### 昆虫類

全10目93科290種(現地10目93科290種/文献なし)

ムスジイトトンボ、オオカマキリ、シロテンハナムグリ、コシロシタバ、カラスアゲハ、アカタテハ、キタキチヨウ、モンシロチヨウなど



イタチ



ニホントカゲ



ニホンカナヘビ



ヤブキリ



アリアケスミレ



シジュウカラ

## 植物相

全 94 科 340 種 ( 現地 94 科 340 種 / 文献なし )

モチツツジ、ヤマモモ、シラカシ、ゲッケイジュ、アリアケスミレ、ヒメスミレ、ナガミヒナゲシ、セイヨウカラシナ、セイヨウタンポポなど

## 植物群落

この区域は用途としては施設用地ですが、公園的な樹林、コナラを主体とする二次林 (いわゆる雑木林)、竹林、草地などの環境を含み、全体としてはかなり広い緑地面積があります。庭や花木～果樹園などの人の利用が多いところには植物の種類が多いのですが、植物種の少ない竹林の面積が広く、また全体として人手が入らないところを好むシダ類はあまり生えていませんでした。



クズのマント群落



区域に隣接する山田川の河辺林

## 凡 例

<b>A常緑広葉樹林</b>	<b>E落葉針葉樹林</b>
A1クスノキ林	E1ヌマシギ・メタセコイア林
A2シイ林	E2その他の針葉樹林
A3アラカシ林	<b>F竹林</b>
A4その他の常緑広葉樹林	F1竹林
<b>B常緑針葉樹林</b>	F2タケ・広葉樹混交林
B1クロマツ林	F3タケ・針葉樹混交林
B2アカマツ林	F4タケ・針葉広葉樹混交林
B3スギ・ヒノキ林	<b>G草地</b>
B4その他の常緑針葉樹林	G1シバ地
<b>C常緑落葉混交林</b>	G2ネザサ草地
C1アカマツ・コナラ林	G3低基草本草地
C2常緑針葉・落葉針葉混交林	G4高基草本草地
C3コナラ・アラカシ林	G5ヨシ原
C4その他の常緑落葉混交林	G6ガマ草地
<b>D落葉広葉樹林</b>	G7その他の草地
D0その他の落葉広葉樹林	H浮遊植物
D1コナラ・アベマキ林	Iマント群落
D2サクラ林	その他
D3ケヤキ林	J1畑地
D4ポプラ林	J2水田
D5ハリエンジュ林	J3果樹園
D6プラタナス林	J4庭園
D7フウ林	K裸地
D8トウカエデ林	L開放水面
D9エノキ・ムクノキ林	行政界
	調査範囲

